

授業科目 社会福祉援助技術各論ⅠA

【担当教員名】 横山豊治	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

<概要>

社会福祉援助技術各論Ⅰは、個人、家族あるいは小集団に直接働きかける社会福祉における援助技術（直接援助技術）を扱う。各論ⅠAは、ケースワーク（個別援助技術）の理論と技術の適用過程について学習する。

<学習目標>

1. ケースワークの基本原理・原則について理解する。
2. ケースワークの理論的發展、基本的枠組み、展開過程を理解する。
3. ケースワークの基本的な技法、展開方法を習得する。
4. ケースワークを活用する福祉専門職としての自己覚知について考察を深める。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ケースワークの位置 社会福祉における直接援助技術の位置づけについて学ぶ		講義
2	ケースワークの沿革 ケースワーク誕生の背景を学び、個別援助技術の理論の発展を学ぶ		
3	ケースワークの定義 事例をもとにケースワークの意義と定義について理解する		
4	構造と機能 ケースワークを構成する要素を理解し、援助者の機能的役割を学ぶ		
5	基本原理・原則（1） ケースワークの原理・原則・価値を学び、自己覚知について考える		
6	基本原理・原則（2） 事例をもとにケースワークの基本原理・原則・価値を学ぶ		
7	展開過程（1） ケースワークの展開過程について学ぶ		
8	展開過程（2） 事例をもとにケースワークの展開過程について理解する		
9	展開方法（1） ケースワークにおける面接の意義と面接構成要素について学ぶ		
10	展開方法（2） ケースワークにおける面接の進め方をロールプレイによって学ぶ		
11	記録の意義と方法 記録の意義と方法（エコマップやジェノグラムなど）について学ぶ		
12	危機介入アプローチ 危機介入アプローチの概要とその適用について学ぶ		
13	課題中心アプローチ 課題中心アプローチの概要とその適用について学ぶ		
14	効果測定と評価 援助効果の測定と評価の意義を理解し、その方法について学ぶ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	『社会福祉援助技術論Ⅱ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	2004年 2500円
参考書	『ソーシャル・ケースワーク論』	大塚達雄ほか	ミネルヴァ書房	1994年 2800円
	『ケースワークの原則－援助関係を形成する技法－』	尾崎新ほか訳	誠信書房	1996年 2000円
その他の資料	必要に応じてプリントを配布する			

【評価方法】 定期試験	【履修上の留意点】
----------------	-----------